# 【表紙】

| | |
|---|---|
| 【提出書類】 | 四半期報告書 |
| 【根拠条文】 | 金融商品取引法第24条の４の７第１項 |
| 【提出先】 | 関東財務局長 |
| 【提出日】 | 平成26年２月14日 |
| 【四半期会計期間】 | 第８期第３四半期(自　平成25年10月１日　至　平成25年12月31日) |
| 【会社名】 | 株式会社アスラポート・ダイニング |
| 【英訳名】 | Asrapport Dining Co., Ltd. |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役社長　　檜垣　周作 |
| 【本店の所在の場所】 | 東京都港区高輪二丁目16番29号 |
| 【電話番号】 | 03-6459-3231（代表） |
| 【事務連絡者氏名】 | 取締役管理本部長　　中村　敏夫 |
| 【最寄りの連絡場所】 | 東京都港区高輪二丁目16番29号 |
| 【電話番号】 | 03-6459-3231（代表） |
| 【事務連絡者氏名】 | 取締役管理本部長　　中村　敏夫 |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社東京証券取引所<br>(東京都中央区日本橋兜町２番１号) |

# 第一部 【企業情報】

# 第１ 【企業の概況】

## １ 【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | | 第７期<br>第３四半期<br>連結累計期間 | 第８期<br>第３四半期<br>連結累計期間 | 第７期 |
|---|---|---|---|---|
| 会計期間 | | 自 平成24年４月１日<br>至 平成24年12月31日 | 自 平成25年４月１日<br>至 平成25年12月31日 | 自 平成24年４月１日<br>至 平成25年３月31日 |
| 売上高 | (千円) | 5,495,386 | 6,552,833 | 7,320,288 |
| 経常利益 | (千円) | 293,302 | 234,284 | 360,457 |
| 四半期(当期)純利益 | (千円) | 249,691 | 155,035 | 280,332 |
| 四半期包括利益又は包括利益 | (千円) | 249,521 | 156,217 | 280,189 |
| 純資産額 | (千円) | 1,385,894 | 1,653,374 | 1,411,884 |
| 総資産額 | (千円) | 3,341,497 | 8,403,048 | 3,388,948 |
| １株当たり四半期(当期)純利益金額 | (円) | 13.91 | 8.48 | 15.55 |
| 潜在株式調整後１株当たり四半期(当期)純利益金額 | (円) | 13.81 | 8.19 | 15.35 |
| 自己資本比率 | (%) | 40.2 | 18.3 | 40.5 |

| 回次 | | 第７期<br>第３四半期<br>連結会計期間 | 第８期<br>第３四半期<br>連結会計期間 |
|---|---|---|---|
| 会計期間 | | 自 平成24年10月１日<br>至 平成24年12月31日 | 自 平成25年10月１日<br>至 平成25年12月31日 |
| １株当たり四半期純利益金額 | (円) | 7.66 | 2.72 |

(注) １．当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
２．売上高には、消費税等は含まれておりません。
３．当社は、平成24年10月１日付で普通株式１株につき普通株式100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、第７期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して１株当たり四半期（当期）純利益金額及び潜在株式調整後１株当たり四半期（当期）純利益金額を算定しております。

## ２ 【事業の内容】

第２四半期連結会計期間において、株式会社弘乳舎の株式を取得したことから、当第３四半期連結累計期間より、同社を連結の範囲に含めております。これに伴い、当第３四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）は食品事業に進出しております。　なお、詳細は、「第４　経理の状況　１　四半期連結財務諸表　注記事項（セグメント情報等）」に記載のとおりであります。

# 第２ 【事業の状況】

## １ 【事業等のリスク】

当第３四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

## ２ 【経営上の重要な契約等】

当第３四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

## ３ 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、金融緩和等による円安・株高の流れから緩やかな景気回復の兆しがみられました。消費マインドも高額品等一部で持ち直しつつある一方、所得環境の改善はまだ大きくは進んでおらず、依然予断を許さない状況が続いております。

外食産業におきましては、消費に若干の回復がみられるものの、物価上昇への懸念、原材料価格の上昇等もあり引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような中で、当社グループは「食のバリューチェーンを構築する」という新たな目標を掲げ、「既存ブランドの競争力強化と成長」、「ブランド・ポートフォリオの多様化」、「海外市場への進出」、「食品生産事業と六次産業化への取り組み」の各課題に取り組みました。

子会社である株式会社プライム・リンクの「牛角」では、冬のキャンペーン「男牛角」とそのCMや、LINEその他のメディアを使用した販促施策、またテレビ露出などもあり既存店業績が引き続き好調に推移するとともに、大型店を含む新規店舗のオープンにより全店業績も伸長しました。「とりでん」は、グランドメニュー変更を行うとともに、ロードサイド、住宅立地の特性を生かした店舗モデルの構築を視野に宅配の試験導入を直営店で実施しました。「キムカツ」では、堅調な店舗での営業に加え、イベント会場での弁当販売など新たな取組も好調で売上、利益ともに寄与しました。

同じく子会社である株式会社とり鉄は、11月にグランドメニュー変更を行い新たな名物「手羽つく」を販売、フェア等も開催して客数が向上しました。

株式会社フードスタンドインターナショナルは、12月に大阪でロールケーキ等を製造販売する「GOKOKU（ゴコク）」７店舗の事業を譲受け、新たに洋菓子の製造販売を開始いたしました。

こうした結果、既存業態売上高前年同期比においては、「牛角」104.5%、「とりでん」95.7%、「おだいどこ」91.9%、「とり鉄」98.4%、グループ飲食事業全体で99.9%となりました。

株式会社弘乳舎については、前年に比べ売上は増加したものの、利益においてはのれん償却により営業損失を計上しました。

以上により、当第３四半期連結累計期間の売上高は6,552百万円（前年同四半期比19.2%増）、営業利益は264百万円（前年同四半期比10.9%減）、経常利益は234百万円（前年同四半期比20.1%減）、四半期純利益は155百万円（前年同四半期比37.9%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①店舗運営

株式会社プライム・リンクにおいて１店舗を閉店する一方、株式会社フードスタンドインターナショナルが譲受けたロールケーキ等を製造販売する「GOKOKU（ゴコク）」の７店舗が加わりました。株式会社とり鉄におけるフランチャイズ店舗の譲受けを含めると、当第３四半期連結会計期間末における当社グループの直営店舗数は50店舗となり、店舗運営の売上高は2,227百万円（同2.7%増）、営業利益53百万円（同78.1%増）となりました。

②フランチャイズ

株式会社プライム・リンクでは５店舗をオープンする傍ら２店舗を閉店しました。この結果、当第３四半期連結会計期間末における当社グループのフランチャイズ店舗数は302店舗となり、フランチャイズの売上高は2,553百万円（同10.9%減）、営業利益810百万円（同25.9%増）となりました。

③食品

乳製品の加工受託及び製造販売事業を主たる事業とする株式会社弘乳舎が行う生産余剰乳（余乳）の加工受託事業及び液状乳製品（脱脂濃縮乳）事業により、食品の売上高は1,042百万円、営業損失は29百万円となりました。

④その他

転貸における売上及び加盟企業向け販促物の売上等を中心に、売上高は729百万円（同58.4%増）、営業利益57百万円（同58.1%増）となりました。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第３四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

該当事項はありません。

(4) 従業員数

当第３四半期連結累計期間において、株式会社弘乳舎を連結の範囲に含めたことに伴い、食品事業において75名増加しております。

(5) 生産、受注及び販売の実績

当第３四半期連結累計期間において、株式会社弘乳舎を連結の範囲に含めたことに伴い、食品事業の販売の実績（1,042百万円）が増加しております。

(6) 主要な設備

当第３四半期連結累計期間において、株式会社弘乳舎を連結の範囲に含めたことに伴い、食品事業において建物及び構築物が197百万円、機械装置及び運搬具が242百万円及び土地が1,397百万円それぞれ増加しております。

# 第３ 【提出会社の状況】

## １ 【株式等の状況】

### (1) 【株式の総数等】

#### ① 【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|---|---|
| 普通株式 | 49,500,000 |
| 計 | 49,500,000 |

#### ② 【発行済株式】

| 種類 | 第３四半期会計期間末現在発行数(株)(平成25年12月31日) | 提出日現在発行数(株)(平成26年２月14日) | 上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名 | 内容 |
|---|---|---|---|---|
| 普通株式 | 18,282,500 | 18,282,500 | 東京証券取引所ＪＡＳＤＡＱ（スタンダード） | 単元株式数は100株であります。 |
| 計 | 18,282,500 | 18,282,500 | ― | ― |

(注)「提出日現在発行数」欄には、平成26年２月１日から本四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は、含まれておりません。

### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式総数増減数(株) | 発行済株式総数残高(株) | 資本金増減額(千円) | 資本金残高(千円) | 資本準備金増減額(千円) | 資本準備金残高(千円) |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 平成25年10月１日～平成25年12月31日 | ― | 18,282,500 | ― | 704,091 | ― | 404,091 |

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第３四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第３四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成25年９月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

① 【発行済株式】

平成25年９月30日現在

| 区分 | 株式数（株） | 議決権の数（個） | 内容 |
|---|---|---|---|
| 無議決権株式 | ― | ― | ― |
| 議決権制限株式（自己株式等） | ― | ― | ― |
| 議決権制限株式（その他） | ― | ― | ― |
| 完全議決権株式（自己株式等） | 普通株式 2,400 | ― | ― |
| 完全議決権株式（その他） | 普通株式 18,279,500 | 182,795 | ― |
| 単元未満株式 | 普通株式 600 | ― | |
| 発行済株式総数 | 18,282,500 | ― | ― |
| 総株主の議決権 | ― | 182,795 | ― |

② 【自己株式等】

平成25年９月30日現在

| 所有者の氏名又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義所有株式数(株) | 他人名義所有株式数(株) | 所有株式数の合計(株) | 発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%) |
|---|---|---|---|---|---|
| 株式会社アスラポート・ダイニング | 東京都港区高輪二丁目16番29号 | 2,400 | ― | 2,400 | 0.01 |
| 計 | ― | 2,400 | ― | 2,400 | 0.01 |

## ２ 【役員の状況】

該当事項はありません。

# 第４ 【経理の状況】

**１．四半期連結財務諸表の作成方法について**

**当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。**

**２．監査証明について**

**当社は、金融商品取引法第193条の２第１項の規定に基づき、第３四半期連結会計期間（平成25年10月１日から平成25年12月31日まで）及び第３四半期連結累計期間（平成25年４月１日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、東陽監査法人による四半期レビューを受けております。**

# 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 前連結会計年度<br>(平成25年３月31日) | 当第３四半期連結会計期間<br>(平成25年12月31日) |
|---|---|---|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 659,597 | 1,700,142 |
| 受取手形及び売掛金 | ※ ― | ※ 1,095,270 |
| 売掛金 | 634,974 | ― |
| 商品及び製品 | ― | 357,416 |
| 商品 | 59,079 | ― |
| 仕掛品 | ― | 12,682 |
| 原材料及び貯蔵品 | ― | 34,565 |
| 貯蔵品 | 12,470 | ― |
| その他 | 225,429 | 286,791 |
| 貸倒引当金 | △53,231 | △14,326 |
| 流動資産合計 | 1,538,320 | 3,472,542 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 土地 | ― | 1,397,300 |
| その他（純額） | 254,755 | 790,036 |
| 有形固定資産合計 | 254,755 | 2,187,336 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 254,764 | 1,675,568 |
| その他 | 38,356 | 33,016 |
| 無形固定資産合計 | 293,121 | 1,708,585 |
| 投資その他の資産 | 1,302,751 | 1,034,584 |
| 固定資産合計 | 1,850,627 | 4,930,506 |
| 資産合計 | 3,388,948 | 8,403,048 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | ― | 742,664 |
| 買掛金 | 391,862 | ― |
| 短期借入金 | 394,130 | 2,220,930 |
| 未払法人税等 | 57,308 | 19,267 |
| 賞与引当金 | ― | 17,667 |
| 店舗閉鎖損失引当金 | ― | 2,860 |
| その他 | 456,599 | 1,319,855 |
| 流動負債合計 | 1,299,900 | 4,323,244 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 70,000 | 145,000 |
| 長期借入金 | ― | 1,198,637 |
| 退職給付引当金 | ― | 91,295 |
| 役員退職慰労引当金 | ― | 50,444 |
| 資産除去債務 | 79,811 | 100,683 |
| その他 | 527,351 | 840,369 |
| 固定負債合計 | 677,163 | 2,426,428 |
| 負債合計 | 1,977,063 | 6,749,673 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度<br>(平成25年３月31日) | 当第３四半期連結会計期間<br>(平成25年12月31日) |
|---|---|---|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 700,888 | 704,091 |
| 資本剰余金 | 659,185 | 662,388 |
| 利益剰余金 | 14,183 | 169,218 |
| 自己株式 | △1,428 | △1,428 |
| 株主資本合計 | 1,372,829 | 1,534,270 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △477 | 36 |
| その他の包括利益累計額合計 | △477 | 36 |
| 新株予約権 | 39,532 | 39,795 |
| 少数株主持分 | － | 79,272 |
| 純資産合計 | 1,411,884 | 1,653,374 |
| 負債純資産合計 | 3,388,948 | 8,403,048 |

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第３四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第３四半期連結累計期間<br>(自　平成24年４月１日<br>至　平成24年12月31日) | 当第３四半期連結累計期間<br>(自　平成25年４月１日<br>至　平成25年12月31日) |
|---|---|---|
| 売上高 | 5,495,386 | 6,552,833 |
| 売上原価 | 2,941,637 | 3,931,487 |
| 売上総利益 | 2,553,748 | 2,621,346 |
| 販売費及び一般管理費 | 2,256,700 | 2,356,785 |
| 営業利益 | 297,048 | 264,560 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 998 | 4,024 |
| 受取家賃 | 3,000 | 3,411 |
| 受取補償金 | 19,095 | 7,299 |
| その他 | 8,487 | 9,764 |
| 営業外収益合計 | 31,581 | 24,499 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 7,488 | 26,995 |
| 支払手数料 | 5,577 | 19,370 |
| その他 | 22,261 | 8,409 |
| 営業外費用合計 | 35,327 | 54,775 |
| 経常利益 | 293,302 | 234,284 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | － | 340 |
| 新株予約権戻入益 | 540 | 3,915 |
| 環境安全対策引当金戻入額 | － | 24,108 |
| 特別利益合計 | 540 | 28,364 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | － | 184 |
| 店舗閉鎖損失 | － | 13,884 |
| 賃貸借契約解約損 | 6,344 | 27,883 |
| その他 | － | 8,982 |
| 特別損失合計 | 6,344 | 50,935 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 287,498 | 211,713 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 39,420 | 16,270 |
| 法人税等調整額 | △1,614 | 39,739 |
| 法人税等合計 | 37,806 | 56,009 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 249,691 | 155,704 |
| 少数株主利益 | － | 668 |
| 四半期純利益 | 249,691 | 155,035 |

【四半期連結包括利益計算書】
【第３四半期連結累計期間】

（単位：千円）

| | 前第３四半期連結累計期間<br>（自　平成24年４月１日<br>至　平成24年12月31日） | 当第３四半期連結累計期間<br>（自　平成25年４月１日<br>至　平成25年12月31日） |
|---|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 249,691 | 155,704 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △170 | 513 |
| その他の包括利益合計 | △170 | 513 |
| 四半期包括利益 | 249,521 | 156,217 |
| （内訳） | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 249,521 | 155,548 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | － | 668 |

**【注記事項】**

**(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)**

**連結の範囲の重要な変更**

**第２四半期連結会計期間より、株式取得により新たに子会社化した株式会社弘乳舎を連結の範囲に含めております。**

**(四半期連結貸借対照表関係)**

**※ 四半期連結会計期間末日満期手形**

**四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末日残高に含まれております。**

| | 前連結会計年度<br>(平成25年３月31日) | 当第３四半期連結会計期間<br>(平成25年12月31日) |
|---|---|---|
| 受取手形 | ― 千円 | 5,943千円 |
| 支払手形 | ― 千円 | 1,302千円 |

**(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)**

**当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び前第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。**

| | 前第３四半期連結累計期間<br>(自　平成24年４月１日<br>至　平成24年12月31日) | 当第３四半期連結累計期間<br>(自　平成25年４月１日<br>至　平成25年12月31日) |
|---|---|---|
| 減価償却費 | 73,422千円 | 56,164千円 |
| のれんの償却額 | 44,617千円 | 79,410千円 |

**(セグメント情報等)**

**【セグメント情報】**

**Ⅰ　前第３四半期連結累計期間(自　平成24年４月１日　至　平成24年12月31日)**

**１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報**

**(単位：千円)**

| | 報告セグメント | | | | その他（注） | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 店舗運営 | フランチャイズ | 食品 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客に対する売上高 | 2,170,342 | 2,864,701 | ― | 5,035,044 | 460,341 | 5,495,386 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | ― | 34,361 | ― | 34,361 | 374 | 34,736 |
| 計 | 2,170,342 | 2,899,063 | ― | 5,069,406 | 460,716 | 5,530,122 |
| セグメント利益 | 30,108 | 643,575 | ― | 673,683 | 36,479 | 710,163 |

**(注)　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、フランチャイズ加盟店及び一般飲食店への販売促進コンサルティング事業、飲食店舗転貸事業及び店舗開発事業等を含んでおります。**

**２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)**

**(単位：千円)**

| 利益 | 金額 |
|---|---|
| 報告セグメント計 | 673,683 |
| 「その他」の区分の利益 | 36,479 |
| 全社費用(注) | △413,114 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 297,048 |

**(注)　全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。**

## Ⅱ　当第３四半期連結累計期間(自　平成25年４月１日　至　平成25年12月31日)

### １．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | その他(注) | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 店舗運営 | フランチャイズ | 食品 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客に対する売上高 | 2,227,925 | 2,553,208 | 1,042,666 | 5,823,800 | 729,032 | 6,552,833 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | ― | 295,161 | ― | 295,161 | 1,345 | 296,507 |
| 計 | 2,227,925 | 2,848,369 | 1,042,666 | 6,118,961 | 730,378 | 6,849,340 |
| セグメント利益 | 53,629 | 810,145 | △29,213 | 834,561 | 57,663 | 892,224 |

(注)　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、フランチャイズ加盟店及び一般飲食店への販売促進コンサルティング事業、飲食店舗転貸事業及び店舗開発事業等を含んでおります。

### ２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

| 利益 | 金額 |
|---|---|
| 報告セグメント計 | 834,561 |
| 「その他」の区分の利益 | 57,663 |
| 全社費用(注) | △627,663 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 264,560 |

(注)　全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

### ３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（のれんの金額の重要な変動）

「食品」セグメントにおいて、第２四半期連結会計期間より株式会社弘乳舎の株式取得による連結子会社化に伴い、のれんが発生しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第３四半期連結累計期間においては1,423,350千円であります。

「店舗運営」セグメントにおいて、（企業結合等関係）に記載の企業結合に伴い、のれんが発生しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第３四半期連結累計期間においては23,507千円であります。

### ４．報告セグメントの変更等に関する事項

第２四半期連結会計期間より、株式会社弘乳舎が連結子会社となったことに伴い、事業セグメントの区分方法を見直し、従来の報告セグメント「店舗運営」「フランチャイズ」に「食品」を追加しております。

なお前第３四半期連結累計期間のセグメント情報につきましては、変更後の区分方法により作成しており、前第３四半期連結累計期間の「１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」に記載しております。

**（企業結合等関係）**

**取得による企業結合**

**１．企業結合の概要**

**(1) 被取得企業の名称及び事業の内容**

**被取得企業の名称　　株式会社スイーツデザインラボ**

**事業の内容　　飲食店運営事業**

**ロールケーキ「ＧＯＫＯＫＵ」　　（５店舗）**

**チーズケーキ「Ｇフロマージュ」　　（２店舗）**

**(2) 企業結合を行った理由**

**子会社である株式会社フードスタンドインターナショナルは、株式会社スイーツデザインラボの洋菓子の企画、製造、販売事業が、当社グループの目指すバリューチェーンの中で相乗効果を発揮し、かつ事業の成長が見込まれると判断し、当事業を譲り受けることを決定いたしました。**

**(3) 企業結合日**

**平成25年12月１日**

**(4) 企業結合の法的形式**

**事業譲受**

**(5) 結合後企業の名称**

**株式会社フードスタンドインターナショナル**

**２．四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間**

**平成25年12月１日から平成25年12月31日まで**

**３．被取得企業の取得原価及びその内訳**

| | | |
|---|---|---|
| **取得の対価** | **現金及び預金** | **50,347千円** |
| **取得に要した費用** | **アドバイザリー費用等** | **3,600千円** |
| **取得原価** | | **53,947千円** |

**４．発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間**

**(1) 発生したのれんの金額**

**23,507千円**

**(2) 発生原因**

**今後の事業展開によって期待される将来の超過収益力であります。**

**(3) 償却方法及び償却期間**

**５年間にわたる均等償却**

**５．譲受ける資産・負債の額**

| | |
|---|---|
| **流動資産** | **16,016千円** |
| **固定資産** | **25,343千円** |
| **固定負債** | **10,920千円** |

**(１株当たり情報)**

**１株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後１株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。**

| | 前第３四半期連結累計期間<br>(自　平成24年４月１日<br>至　平成24年12月31日) | 当第３四半期連結累計期間<br>(自　平成25年４月１日<br>至　平成25年12月31日) |
|---|---|---|
| (1) １株当たり四半期純利益金額 | 13円91銭 | 8円48銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 四半期純利益金額(千円) | 249,691 | 155,035 |
| 普通株主に帰属しない金額 | ― | ― |
| 普通株式に係る四半期純利益金額(千円) | 249,691 | 155,035 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 17,948,872 | 18,274,145 |
| (2) 潜在株式調整後１株当たり四半期純利益金額 | 13円81銭 | 8円19銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 四半期純利益調整額(千円) | ― | ― |
| 普通株式増加数(株) | 127,591 | 663,871 |
| 希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後１株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要 | ― | 第５回新株予権<br>普通株式　570,000株 |

（注）当社は、平成24年10月１日付で普通株式１株につき普通株式100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して１株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後１株当たり四半期純利益金額を算定しております。

**(重要な後発事象)**

**１．第三者割当による新株予約権の発行について**

**平成26年１月16日開催の取締役会において、以下のとおり第三者割当により発行される第６回新株予約権の募集を行なうことを決議し、平成26年２月３日に発行いたしました。**

| | |
|---|---|
| 新株予約権の銘柄 | 株式会社アスラポート・ダイニング第６回新株予約権 |
| 募集の方法 | 第三者割当の方法により、全額をマイルストーン・キャピタル・マネージメント株式会社に割り当てております。 |
| 新株予約権の総数 | 19,855個（新株予約権１個当たり100株） |
| 新株予約権の目的となる株式の種類及び数 | 普通株式　1,985,500株 |
| 新株予約権のの発行価額の総額 | 2,382,600円（新株予約権１個当たり120円） |
| 新株予約権の行使時の払込金額 | 277円 |
| 新株予約権の行使期間 | 平成26年２月３日から平成28年２月２日まで |
| 新株予約権の行使により株式を発行する場合の株式の発行価額の総額 | 549,983,500円 |
| 申込期日 | 平成26年２月３日 |
| 割当日 | 平成26年２月３日 |

| | |
|---|---|
| 払込期日 | 平成26年２月３日 |
| 資金使途 | 事業の取得（M&A資金）であり、支出予定時期は平成26年２月から平成28年１月までであります。 |

２．第三者割当による転換社債型新株予約権付社債の発行について

平成26年１月16日開催の取締役会において、以下のとおり第三者割当により発行される第１回転換社債型新株予約権付社債の発行することを決議し、平成26年２月３日に発行いたしました。

| | |
|---|---|
| 銘柄 | 株式会社アスラポート・ダイニング第１回無担保転換社債型新株予約権付社債 |
| 募集の方法 | 第三者割当の方法により、全額をマイルストーン・キャピタル・マネージメント株式会社に割り当てております。 |
| 発行価額の総額 | 150,000,000円 |
| 各社債の金額 | 3,000,000円 |
| 発行価格 | 額面100円につき金100円。但し、本新株予約権と引換えに金銭の払込みを要しないものとする。 |
| 利率 | 年率1.0% |
| 償還期限 | 平成28年２月２日 |
| 償還の方法 | 本社債は、平成28年２月２日（償還期限）にその総額を各本社債の金額100円につき金100円で償還する。<br>当社は、平成26年２月３日以降、償還すべき日の２週間以上前に本新株予約権付社債の社債権者(以下、「本社債権者」という。)に対し事前の通知(撤回不能とする。)を行った上で、当該繰上償還日に、その選択により、その時点で残存する本社債の全部（一部は不可）を、各本社債の額面100円につき金100円の割合で、繰上償還日まで(当日を含む。)の未払経過利息(本社債の利息のうち、支払期が到来せず、まだ支払われていないものをいい、以下同様とする。)及び未払残高の支払とともに繰上償還することができる。<br>償還すべき日が銀行休業日にあたるときは、その前銀行営業日にこれを繰り上げる。<br>当社は、本新株予約権付社債権者と合意の上、随時本新株予約権付社債をいかなる価格でも買入れることができる。<br>当社が本新株予約権付社債を買入れた場合には、当社は、いつでも、その選択により、当該本新株予約権付社債にかかる本社債を消却することができ、かかる消却と同時に当該本新株予約権付社債にかかる本新株予約権は消滅する。 |

| | |
|---|---|
| 申込期日 | 平成26年２月３日 |
| 払込期日 | 平成26年２月３日 |
| 担保 | 本新株予約権付社債には物上担保及び保証は付されておらず、また、本新株予約権付社債のために特に留保されている資産はありません。 |
| 新株予約権の目的となる株式の種類 | 普通株式 |
| 新株予約権の目的となる株式の数 | 本新株予約権の行使により当社が交付する当社普通株式の数は、同時に行使された本新株予約権に係る本社債のうち残存金額の総額を当該行使時において有効な転換価額で除して得られる最大整数とする。但し、行使により生じる１株未満の端数は切り捨て、現金による調整は行わない。 |
| 新株予約権の数 | 各本社債に付された新株予約権の数は１個とし、合計50個の新株予約権を発行する。 |
| 転換価額 | 277円 |
| 新株予約権の行使期間 | 平成26年２月３日から平成28年２月２日まで |
| 新株予約権の行使により株式を発行する場合の株式の発行価額の総額 | 150,000,000円 |
| 資金使途 | 事業の取得（M＆A資金）であり、支出予定時期は平成26年２月から平成28年１月までであります。 |

３．転換社債型新株予約権付社債に付されている新株予約権の行使による増資

平成26年２月３日から平成26年２月13日までの間に第１回転換社債型新株予約権付社債に付されている新株予約権の権利行使がありました。当該新株予約権の権利行使の概要は次のとおりであります。

(1) 発行した株式の種類及び株式数

普通株式　270,758株

(2) 増加した資本金

37,500千円

(3) 増加した資本剰余金

37,500千円

これにより、平成26年２月13日現在の普通株式の発行済株式数は、18,553,258株、資本金は741,591千円、資本剰余金は699,888千円となりました。

## 2 【その他】

**該当事項はありません。**

# 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

**該当事項はありません。**

# 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年２月14日

株式会社アスラポート・ダイニング
　取締役会　御中

東陽監査法人

| | | |
|---|---|---|
| 指定社員<br>業務執行社員 | 公認会計士 | 吉　田　光一郎　印 |
| 指定社員<br>業務執行社員 | 公認会計士 | 千　島　亮　人　印 |

当監査法人は、金融商品取引法第193条の２第１項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社アスラポート・ダイニングの平成25年４月１日から平成26年３月31日までの連結会計年度の第３四半期連結会計期間（平成25年10月１日から平成25年12月31日まで）及び第３四半期連結累計期間（平成25年４月１日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任
経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任
当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。
四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。
当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論
当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社アスラポート・ダイニング及び連結子会社の平成25年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第３四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

強調事項
１．重要な後発事象に記載されているとおり、会社は平成26年１月16日開催の取締役会において、第三者割当による新株予約権の発行を決議し、平成26年２月３日に発行した。
２．重要な後発事象に記載されているとおり、会社は平成26年１月16日開催の取締役会において、第三者割当による転換社債型新株予約権付社債の発行を決議し、平成26年２月３日に発行した。
３．重要な後発事象に記載されているとおり、第三者割当による転換社債型新株予約権付社債に付されている新株予約権の権利行使がなされている。
当該事項は、当監査法人の結論に影響を及ぼすものではない。

利害関係
会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以　上

**(注) 1　上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。**

**2　四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。**